蒲原病院だより

共立蒲原総合病院　広報誌

回　覧

令和２年７月

夏　号

新型コロナウイルス感染症対策　～当院の取り組みについて～

当院では新型コロナウイルス感染症拡大防止への取り組みとして以下の対策を行い、患者様をはじめ来院される方と職員の感染予防を実施しています。何卒ご理解くださいますようお願い申し上げます。

当院で実施している感染予防策

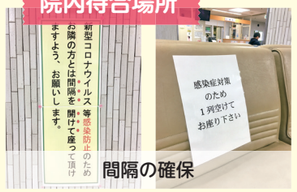
- 来院される方への検温の実施
- マスク着用・手指消毒のお願い
- 待合におけるソーシャルディスタンスの確保
- うつらない・うつさないための対策（シールドの設置・防護具の装着）

病院正面玄関の様子

来院される方の体温測定

手指消毒剤の設置

院内待合場所



間隔の確保

飛沫による感染の防止

窓口への
シールド設置

手袋、マスク、
アイシールドの着用

また、当院におきましてもマスクや手指消毒剤などの感染予防具の入手が困難な状況が続いております。このような中、近隣の企業様（数社）から貴重なマスクや患者さんの体を拭くウエットタオルなどを寄付して戴きました。本当にありがとうございました。

この場をお借りして職員一同よりお礼を申し上げます。

市民公開講座開催中止のお詫び

５月 14 日に開催を予定しておりました、整形外科加藤純一郎医師と骨折予防チームによる市民公開講座「骨粗鬆症の予防・治療について」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から中止させていただきました。ご迷惑をお掛けしまして大変申し訳ございません。

なお、次回の開催日程等につきましては、今後の状況を踏まえ、院内掲示、当院ホームページ及び院外広報誌等にてお知らせ致します。

ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ　地域医療支援室　高井　☎0545-81-5577

おしえて！認定看護師さん　～認知症について～

皆様のちょっとした疑問におこたえしていきます！

Q 認知症って予防できるの？症状は？

A 認知症はまだ完全に予防できるものではありません。しかし､生活習慣病（糖尿病や高血圧等）を予防したり、活動の推進により、認知症になることを遅らせたり、進行を緩やかにする事ができます。楽しみだった趣味をやめてしまう､同じ話を繰りかえす､約束をすっぽかしてしまう､同じ物を不必要に買ってくる、料理のミスが多くなった等の症状が見られたら、認知症の初期症状によるものかもしれません。「認知症になると何も分からなくなる」等と思われてしまいがちですが、実際は何も分からなくなるわけではなく、感情があり、自身の変化に不安や戸惑いを感じています。

周囲の方が認知症の方の気持ちに寄り添うこと、認知症の事を正しく理解し対応することで、認知症の方は安心して生活することができます。そのため、気になる症状が見られたら、早い段階で病院への受診や介護相談をすることをおすすめしています。

認知症看護認定看護師の活動

超高齢社会を迎え、当院でも入院患者様が認知症を患っているケースが増えています。入院をきっかけに、認知症状の発症や悪化・せん妄症状を引き起こす可能性がありますが、それに対して適切なケアや環境調整を行い、患者様が安心して治療を受け入院生活を送ることができるよう支援することが私の役割です。当院では平成 28 年度から認知症・せん妄ケアチームを立ち上げ、認知症の患者様に多職種で関わる取り組みを行っています。認知症の患者様が持っている力を引き出し、その人がその人らしく生活を送るためにどのようなケアをしたら良いか、チームメンバーや病棟スタッフと共に考え実践しています。また、入院生活の中に少しでも楽しめる時間を作り出せるように、院内デイケアを実施しています。患者様の笑顔が見られることでやりがいを感じています。

これ以外の取り組みとして、外来での待ち時間に認定看護師による看護相談を行っています。今後はより地域の方と交流をはかれるように出前講座も実施していく予定です。

認知症のことを正しく知ってもらい、この住み慣れた地域で認知症の方や家族が安心して暮らすことができるよう、お手伝いをさせていただきたいと思っています。ぜひご相談ください。

お問い合わせ　看護部　深澤　☎0545-81-2211

スタッフ募集

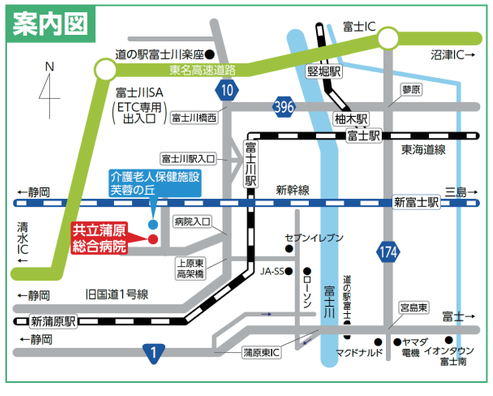
当院では、以下の職種について随時募集しております。

- 看護師
- 看護助手
- 薬剤師
- 診療放射線技師
- 臨床検査技師
- 介護福祉士
- 介護職員（病院、芙蓉の丘）

勤務日・勤務時間等については相談可能です。
詳しくは病院ホームページをご確認ください。

お問い合わせ　☎ 0545-81-2211 内線 12
総務課 総務担当

案内図



共立蒲原総合病院
〒421-3306　静岡県富士市中之郷2500番地の1
TEL：0545-81-2211　FAX：0545-81-2208
ホームページ：http://www.kanbarahp.com

がん化学療法について

内科　医師　横山　ともみ

がんは臓器によって病気の特徴、経過が異なりますが、治療法のひとつである化学療法（抗がん剤治療）は年々進歩し、選択肢が増えています。症状が軽減したり、進行が抑えられたりする効果により、仕事や趣味を続けたり、育児や介護をしたりと日常生活を送りながら治療を続ける方が多くなっています。

化学療法は“上手にがんとつき合う”治療と言われます。長期の外来通院が必要になったり、副作用に備えて自宅でのケアが必要になったりするためです。そのためには病気のこと、化学療法の内容についてよく理解して、向き合うことが大切になります。当院で行う化学療法は標準治療として臨床試験の結果を基に有効性と安全性が確認された一般的な治療であり、ほとんどの治療にパンフレットが作成されています。ご自分の体調、ライフスタイルに合った治療法を主治医と相談し、継続していきましょう。

がんの化学療法が始まるとき、一番心配されるのは副作用のことです。ひどい吐き気が出るのではないか、感染症にかかりやすいのか、脱毛はどの程度かなど、体調の変化は誰もが気になるところです。残念ながら、副作用が全くない化学療法はありませんが、重篤な副作用が出ないようあらかじめ症状を抑える薬剤を併用したり、体調に合わせて薬剤の量を調整したりすることで日常生活に支障がないよう工夫をしていきます。

化学療法中は毎日体調をチェックすることが良いですが、特にどのような症状に注意すべきかは治療法によって異なります。予想していたより辛い症状や急な体調不良が出る場合には早めに受診していただき対処することもあります。

この他にも、化学療法の効果、家族の対応の仕方、ときにはご自身の気分の落ち込みなどもあり、どのように対処したらよいか不安になることがあるかもしれません。

病院には主治医の他にも治療を理解している看護師、薬剤師がおり、費用面や福祉サービスの相談ができる医療ソーシャルワーカーもいます。がんと上手につきあうサポートを行っていきますので、遠慮なくご相談ください。

お問い合わせ　地域医療支援室
医療ソーシャルワーカー　原　☎0545-81-5577

夏場の食中毒に気をつけましょう!

気温が上がるにつれて湿度も上がり、これからの季節は食中毒が起こりやすくなります。夏場は菌が繁殖しやすいだけでなく、身体の抵抗力・免疫力も落ちやすい時期です。

食中毒を防ぐための３つの原則を守って、家庭から食中毒をなくしましょう。

食中毒予防の３原則

菌をつけない	菌を増やさない	菌をやっつける
食中毒の原因となる細菌やウイルス、有害物質などを食品や調理器具につけないことが大切です。手や調理器具を清潔に保つようにしましょう。	食品は室温に置いておかず、冷蔵庫で保存しましょう。夏場は、冷蔵庫内の温度も上がりやすくなりますので、冷蔵庫の頻繁な開閉、食品のつめこみ過ぎにも注意しましょう。	食品はしっかり加熱しましょう。保存した食品も早めに再加熱して食べるようにしましょう。調理器具も熱湯などで殺菌・消毒してから使用するようにしましょう。
清潔・洗浄	迅速・冷却	加熱・殺菌

食中毒予防は衛生管理が第一ですが、普段からの体調管理も重要なポイントです。栄養バランスの良い食事と睡眠時間の確保、適度な運動を心掛け、免疫力を維持して菌やウイルスから身体を守りましょう。

参考：食中毒（厚生労働省）、食中毒から身を守るには（農林水産省）

＼ 新人職員が入職しました！ ／

今春、10 名の新卒看護師が当院看護部に仲間入りしました。看護技術や医療安全、感染対策等の研修と所属部署では先輩看護師から指導を受けながら、毎日頑張っています。どうぞよろしくお願いいたします。

小山看護師

４月から覚えることがたくさんあり、看護という仕事の大変さを改めて実感しています。このような中、先輩方が優しく指導して下さり、そして患者さんからの「ありがとう」という言葉に励まされることがあると、自分は恵まれた環境の中で仕事をさせていただいていると思う日々です。患者さんに「この看護師に出会えて良かった」と思っていただけるような看護師になりたいと思います。１日１日を大切に、そして初心を忘れずに日々努力していきます。

仲倉看護師

４月に入職して東２病棟に配属となりました。東２病棟は一般内科・呼吸器・消化器・循環器内科の病棟です。検査や治療・処置など新しく学ぶことが多く、自分の未熟さを痛感しています。毎日先輩方に指導していただき、一つ一つ分からないことを自分の学びにつなげています。これからも学ぶ姿勢を忘れずに、患者さんの個別性にあった看護が行えるように努力していきたいと思います。

髙野看護師

右も左も分からないことが多いですが、新人研修を受け、わからない所を丁寧に優しく教えて下さる先輩の元で成長し、患者さん寄り添った看護を提供できるようにまずは一つ一つできることを確実に増やしていきたいと思います。

杉山看護師

東３病棟に配属となり、毎日多くの事を学びとても充実した日々を送ることができています。これからも共に働く先輩方や他職種の皆さん、同期から多くの事を学び、精一杯頑張っていきたいと思います。

小柳看護師

現在は先輩看護師と共に患者さんのケアに入っています。突然の入院や手術に不安を抱えている患者さん、意識障害のある患者さんも入院されていますが、患者さんの望みは何か、苦痛や不安を緩和してあげられるよう自分に何ができるのか考えて、日々患者さんと向き合っていきたいと思います。

杉山看護師

４月から東２病棟（急性期内科）で勤務し、毎日新しい事を覚えて行くことがとても大変ですが、先輩方にご指導いただきながら頑張っています。まだまだできることが少なく無力と感じる事が多々ありますが、できることを一つ一つ増やし、確実な技術を身につけて、責任を持って患者さんを看護していけるよう努力しようと思います。

仲亀看護師

今年から看護師として働いています。責任の重い仕事ですが、幼い頃から人の役にたちたいと思っていたため、看護師という医療職に勤めることができて良かったです。今後看護師として患者様の嬉しいことや悲しいことなど一人一人に寄り添える看護師になれるよう頑張ります。

森脇看護師

私は東３病棟に配属になりました。失敗を繰り返しながらも、その中で色々なことにチャレンジしながら、毎日できることを増やしていきたいです。患者さんとの日々の関わりを大切に看護とは何か模索しながら業務に励んでいきたいと思います。

佐藤看護師

東３病棟に配属になりました。優しい先輩方、同期に支えられながら日々仕事に取り組んでいます。多くの患者さんに寄り添えるよう優しい看護師になりたいです。よろしくお願いします。

草谷看護師

患者さんが不安なく治療に望めるよう、患者さんの心に寄り添える看護師を目指して精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いします。